

カルタヘナ法に基づき第一種使用規程を承認した遺伝子組換えカイコ一覧(承認順)
(令和元年9月12日現在)

カルタヘナ法(遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律(平成15年法律第97号))に基づき、生物多様性影響が生ずるおそれがないものとして環境大臣及び農林水産大臣が第一種使用規程を承認した遺伝子組換えカイコは以下のとおりです。

生物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の 主な内容	承認日
	1	緑色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコ(<i>HC-EGFP, Bombyx mori</i>) (HC-EGFPぐんま×HC-EGFP 200) 【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構】	隔離飼育区画での試験等	2014年5月2日 (使用期間: 2014.5.2 ~ 2017.3.31)
	2	緑色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコ(<i>HC-EGFP, Bombyx mori</i>) (HC-EGFPぐんま×HC-EGFP 200) 【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、群馬県蚕糸技術センター】	群馬県蚕糸技術センターにおける隔離飼育区画での試験等	2015年5月25日 (使用期間: 2015.5.25 ~ 2020.3.31)
	3	橙色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコ(<i>HC-mKO, Bombyx mori</i>) (GN2×GCS2) 【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、群馬県蚕糸技術センター】	群馬県蚕糸技術センターにおける隔離飼育区画での試験等	2016年4月27日 (使用期間: 2016.4.27 ~ 2021.3.31)
	4	青色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコ(<i>HC-Sirius, Bombyx mori</i>) (GN13×GCS13) 【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、群馬県蚕糸技術センター】	群馬県蚕糸技術センターにおける隔離飼育区画での試験等	2016年4月27日 (使用期間: 2016.4.27 ~ 2021.3.31)
	5	高染色性絹糸生産カイコ(改変 <i>Fibroin H, Bombyx mori</i>) (中515号×GCS500) 【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構】	隔離飼育区画での試験等	2016年5月25日 (使用期間: 2016.5.25 ~ 2021.3.31)
	6	高染色性絹糸生産カイコ(改変 <i>Fibroin H, Bombyx mori</i>) (中515号×GCS500) 【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、群馬県蚕糸技術センター】	群馬県蚕糸技術センターにおける隔離飼育区画での試験等	2016年5月25日 (使用期間: 2016.5.25 ~ 2021.3.31)
	7	緑色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコ (<i>HC-EGFP, Bombyx mori</i>) (HC-EGFPぐんま、HC-EGFP 200、HC-EGFPぐんま×HC-EGFP 200) 【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構】	カイコの繭糸の生産のための、一般使用に係る3齢幼虫期以降の飼育及び繭の生産・加工等	2017年9月22日

生物名	番号	名称及び承認取得者	第一種使用等の 主な内容	承認日
	8	緑色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコ (<i>HC-EGFP, Bombyx mori</i>) (HC-EGFP ぐんま(ぐんまとの交配後代を含む。)、HC-EGFP 200(200との交配後代を含む。)、HC-EGFP ぐんま×HC-EGFP 200、HC-EGFP ぐんま×200、ぐんま×HC-EGFP 200)【国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構】	カイコの繭糸の生産のための、一般使用に係る3齢幼虫期以降の飼育及び繭の生産・加工等	2019年9月12日
	8			

注：表の最下欄の値は、各項目の合計件数を示すものです。

参考：承認した遺伝子組換え昆虫に係る第一種使用規程承認申請書、生物多様性影響評価書の概要、学識経験者の意見等については、バイオセーフティクリアリングハウス(J-BCH)のLMO関連情報(http://www.biodic.go.jp/bch/bch_3.html)から検索できます。